主な総括質疑

自民党　服部　敏夫　委員
- 下田市との災害時相互応援協定と下田臨海学園の備蓄について
- 区立介護施設の現在の利用状況を踏まえた今後の方針について
- 京成電鉄高架下における駐輪場整備等の活用について

自民党　明戸真弓美　委員
- 日暮里駅前に観光案内所を設置することについて
- 若い世代への情報発信としてメールマガジンの周知策について
- 道路拡幅整備に伴い影響を受ける店舗への支援策について

共産党　横山　幸次　委員
- 消費税の10％への引き上げに対する区の認識について
- 預金に入った差し押さえ禁止財産に対する区の認識について
- 生活に困窮する相談者への庁内横断的な把握と対応について

公明党　吉田　詠子　委員
- 認知症の予防と早期発見のための担当部署等の設置について
- 防災士の育成に向けた資格取得のための支援策について
- 東日本大震災を忘れないための朗読会等の取り組みについて

民主・市民　竹内　明浩　委員
- 現状を踏まえた洪水ハザードマップの見直しについて
- 水害への意識向上のため電柱への想定浸水深の表示について

元気クラブ　斉藤　裕子　委員
- 日暮里区民事務所建て替えと尾久本町ふれあい館建設について

日本創新党　小坂　英二　委員
- 荒川区議会の議員定数を8名削減すべきことについて

正論の会　浅川　喜文　委員
- 少子化対策として二世帯近居・三世代近居の推進を図れ！

改革の会　藤澤　志光　委員
- 健康寿命延伸、認知症予防に向けた歯科検診の体制について

総括質疑についてはDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出しますのでご利用ください。

平成25年度 決算の概要

		予算現額	歳入（収入率）	歳出（執行率）	歳入歳出差引残高
一般会計		901億7379万円	858億7084万3662円（95.2%）	833億9666万9456円（92.5%）	24億7417万4206円
特別会計	国民健康保険事業	262億2002万9000円	255億2598万4374円（97.4%）	254億3723万4665円（97.0%）	8874万9709円
	後期高齢者医療	43億300万円	39億9566万2855円（92.9%）	38億5868万5174円（89.7%）	1億3697万7681円
	介護保険事業	163億2406万円	147億8227万1229円（90.6%）	144億473万1603円（88.2%）	3億7753万9626円
計		1370億2087万9000円	1301億7476万2120円	1270億9732万898円	30億7744万1222円

平成25年度決算をこう評価する

10月15日の本会議において、平成25年度一般会計決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

賛成

行財政改革に熱意を持って取り組むとともに、区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られたことを評価

自民党

25年度決算について、このたびの決算審査で成果を確認したが、区政の全般にわたって区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られており、改めて西川区長の成果を高く評価する。

まず、財政状況について、経常収支比率や公債費比率は我が党が提案した水準の範囲内にあり、引き続き健全な財政運営を維持している。厳しい財政状況が改善されてきたのは、我が党が主張し続けてきた行財政改革に、区が熱意を持って取り組んだ結果と評価する。

防災・防犯では、区の公共施設が存在する自治体との災害時相互応援協定締結の実施や区民が確保すべき備蓄計画の策定と周知、公園等における防犯カメラの早期設置などを求める。

健康・福祉と子育て支援では、介護予防の拠点施設の整備や障がい者の親なき後対策の推進等への積極的な取り組み、放課後子ども総合プランの早期全校実施や私立保育園・幼稚園等への各種支援の充実等を要望する。

教育では、小中学校の教育環境の整備はもとより、学力向上マニフェスト事業における学力向上、学校パワーアップ事業のさらなる充実などの取り組みを要望する。

道路や公園等の整備では、京成高架下の有効活用、藍染川西通り道路のフラット化等に向けての積極的な取り組みを要望する。

産業振興では、地域活性化のため、区内のものづくり産業の活性化を図るとともに、各ハローワークとの協力を深め、子育て中の女性や若年者に対する一層の就労支援の充実が図られるよう期待する。

観光振興及び地域振興では、あらかわ遊園を積極的に活用する等により、観光振興と地域活性化が図られるよう期待する。さらに、日暮里区民事務所と隣接地を活用した拠点施設の設置を要望する。

環境については、「荒川区低炭素地域づくり計画」を踏まえ温暖化対策を行い、新リサイクルセンターの早期建設で、資源循環型社会実現の拠点とするよう要望する。

25年度決算は、予算目的を達成し、区民の期待に応えた執行であると判断した。これからも、区民サービスのさらなる向上を目指し、区民が真に幸福を実感できる荒川区の実現に向け全力を尽くしてほしい。決算特別委員会での我が党議員からの提案等を真摯に受け止め、今後の区政運営に反映するよう強く要望して、賛成討論とする。

賛成

数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実な執行がなされたことを評価。今後も区民サービスの一層の向上に努力するよう求める

公明党

本区の財政運営の健全性を主な財政指標から見ると、経常収支比率、公債費比率は改善しており、健全化判断比率の各数値も早期健全化基準を大きく下回っている。また、包括年次財務報告書においても負債は前年よりも減少し、将来世代への負担は確実に減少している。しかし、今後は法人住民税のさらなる国税化等の影響が懸念される一方、社会保障関係費の増大、老朽化した公共建築物の更新等、多額の財政負担を伴う行政需要が見込まれる。従って、今後の区政運営については財政の健全性を確保しつつ、施策や事業のさらなる重点化を図るべきと考える。

具体的な施策では、我が党が予算要望として区長に提出した「荒川公明ビジョン100」等に掲げた項目は、概ね予算化され執行されている。さらに決算特別委員会で、認知症対策、防災士の資格取得の支援策、公共施設の老朽化対策に活用できる固定資産台帳の整備、ふれあい館利用児童の見守り充実、在宅育児家庭に対する支援の強化、地域の声を反映したコミュニティバス運営、捨て看板の即刻撤去に向けた取り組みの強化などについて要望や提案を行った。基本的に前向きな答弁がなされており、今後、実現に向けて早急な検討に入ることを強く要望する。

以上、平成25年度決算については数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実な執行がなされたものと高く評価する。今後も区民サービスの一層の向上に努力されるよう求め賛成討論とする。